

# 第165回 日本医学会シンポジウム

The Japanese Association of Medical Sciences Symposium

2024年 11月16日(土) 13:00  
17:05

日本医師会館 大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
TEL: 03-3946-2121 (代)

入場無料  
事前登録制

- 13:00 開会の挨拶  
門脇 孝 (日本医学会長)
- 13:05 シンポジウム概説 (序論)  
大友 康裕 (国立病院機構災害医療センター病院長)  
座長 大友 康裕
- 13:15 1. わが国の災害医療体制の変遷と能登半島医療対応  
近藤 久禎 (国立病院機構本部 DMAT 事務局長)
- 13:45 2. 大規模災害への対応計画、本当に必要なBCPとは  
高橋 礼子 (愛知医科大学災害医療研究センター講師)
- 14:15 3. 我が国の感染症危機管理体制について  
鷺見 学 (厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部長)  
座長 磯 博康 (国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センターセンター長)
- 14:45 4. 能登半島地震における行政デジタル支援者側から見た災害時医療DX  
江口 清貴 (神奈川県情報統括責任者 (CIO) 兼データ統括責任者 (CDO))
- 15:15 5. 健康危機管理の研究・人材育成と多領域協働の推進  
今中 雄一 (社会医学系専門協会理事 京都大学ヘルスセキュリティセンターセンター長)
- 15:45 休憩
- 16:00 総合討論 (質疑応答・総括)  
司会 大友 康裕・磯 博康
- 17:00 閉会の挨拶  
高橋 雅英 (日本医学会副会長)
- 17:05 終了

# 災害医療の 現状と今後の課題

主催 日本医学会

第165回日本医学会シンポジウム組織委員 大友 康裕・磯 博康

参加費 無料 出席者は討論に参加できます。

対象者 医師および医療関係者

参加方法 日本医学会ホームページから登録 (下記QRコードからアクセスできます)  
※お申し込みの参加希望者の氏名、住所等の個人情報は、第三者に提供することはありません。

申込受付 2024年10月1日(火)より受付開始予定

締め切り 先着300名

問い合わせ先 日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内  
TEL: 03-3946-2121 (代)

URL <https://jams.med.or.jp/>



- JR山手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
  - 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
  - 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分
- ※ 車での来館はご遠慮下さい。駐車できません。



日本医学会

## 日本医師会生涯教育制度 (医師のみ)

本シンポジウムでは、生涯教育制度のカリキュラムコード1 (医師のプロフェッショナリズム) 0.5単位、8 (感染対策) 0.5単位、9 (医療情報) 0.5単位、10 (チーム医療) 0.5単位、12 (地域医療) 0.5単位、14 (災害医療) 1単位の合計3.5単位が取得できます。生涯教育制度の単位等を希望する医師の方は、参加申込の際に、医籍登録番号、所属の郡市区医師会名をご入力ください。入力がない場合、単位等の付与は行いません。